

ふみびと

第334号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

無意識に感じる 言葉の温かさ

あなたのそばに

「大丈夫だよ」

部活でサッカーをやっていた頃、社会人になって間もない頃、大きなミスをしてしまつて周りに迷惑をかけて頭が真っ白に、顔が真っ青になつてしまつたような時、何度となくかけてもらったその一言。ミスした結果がなくなるわけでもないけれど、そのたった一言に救われたことは数え切れないほど。

もう一度立ち上がる力を与えてくれるのは、そんな些細な一言のよう
な気がします。「大丈夫」と言う方は決して根拠があつて言っているわけではないし、こちらも根拠を感じているわけではな
いのに、何となく大丈夫な気がしてしまふ、まるで魔法のような言葉。
思えばまだ幼い頃、母は何かある度にその言葉をかけてくれていて、もつと遡ると赤ちゃんの頃、大泣きする度に「大丈夫だよ」と繰り返し声をかけていてくれたそうです。

「大丈夫」

そんな一言に根拠もない安心感を感じることができ
るのは、生まれた頃からかけてもらつていた言葉の温かさを無意識に感じているからなのでしょう
か。

もちろん赤ちゃんの頃にかけてもらつた言葉なんて何も覚えていないわけでもないのですが、「大丈夫」の持つ「音」には、自分を守ってくれるよう



冬の訪れ

冬の訪れを感じる時季になった。朝の冷え込み、道に落ちた枯葉、あつという間に終わる夕刻。あちらこちらに冬の気配が待ち構えている。本格的な寒さが迫っているかと思うと首をすくめたく
なつて、あわてて冬の楽しみを数えてみる。澄んだ空気の中で光る街の明かり、厚手のコートに身を

たくさんあるのだ。最も身近な楽しみは、みんなで囲む冬の食卓かもしれない。温かな食事を誰かと

楽しむ。お皿からのぼる湯気の向こうに笑顔が見える。外の寒さがなおさら部屋の暖かさを引き立ててくれる。そして口にする料理が身も心も温めてくれる。
これから待っていてくれる季節の楽しみを、寒いからと言って背中を丸めず、胸を張って迎えられる準備をしよう。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだ
す。事務信同の筒さいで流す。宛封下まで交り
局用封今いま



お知らせ

★12月の発送日

12月発送日は11日と25日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ3日前（8日、22日）までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上ポストに投函して下さい。

★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報をお返せさせていただきます。なお、現在ご家族・ご友人紹介キャンペーン実施中です。紹介した人された人双方に、1ヶ月分期間を延長させて頂きます。

